

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	9	学校名	静岡県立伊豆中央高等学校	校長名	川村 陽一
------	---	-----	--------------	-----	-------

1 スクール・ミッション

地域のリーダー的人材育成を目指し、大学等さらなる高度な教育での学びに向かう資質・能力、意欲を育成する学校として、「明るく 正しく たくましい」の校訓のもと、地域連携等の学校内外の多様な他者との協働的な教育活動を通して、自己を鍛え、健全で逞しい精神を身に付け、自信と誇りを持って社会や地域を支え導く人材育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー（卒業までに育成を目指す資質・能力に関する方針）

～本校では卒業までにこのような力を身に付けます～

- 明るく何事にも積極的に取り組み、人として正しくあろうとし、健全で逞しい精神を身に付けることに努める力
- 大学等さらなる高度な教育において、学びに向かう資質・能力
- 自信と誇りを持って社会や地域を支え導くことのできる力

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

～本校ではこのような学びを行います～

- グローバルな視野と幅広い教養を育み、社会や地域のことを学び、社会や地域に貢献できる資質・能力を育成する探究活動の推進
- 協働的な教育活動を通して、基本的な知識の確実な習得とともに、論理的な思考力や考察力を高める授業の実施
- 効率的な学習や社会課題の解決に向け、信頼性の高い情報を収集・分析・活用できる ICT 活用スキルを育成する教育活動の実施

アドミッション・ポリシー（入学者の受け入れに関する方針）

～本校ではこのような生徒を求めています～

- 地域や世界の様々な事象に関心を持ち、自ら課題を発見し、その解決に向けて多様な人々と協働しながら探究する意欲がある生徒
- 知的好奇心が旺盛で、主体的に学び続ける意欲がある生徒
- 授業はもちろん、行事や生徒会活動、部活動、校外の活動にも積極的に取り組む意欲がある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 自己肯定感の涵養
- イ 自ら学ぶ力の育成
- ウ こころざしの育成と全生徒の進路実現
- エ 教職員の組織力強化と業務改善
- オ 学校・家庭・地域との連携協力
- カ 魅力ある学校づくり

様式第1号

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	自己肯定感の涵養	自主自律の精神の育成ならびに基本的な生活習慣の確立	生活リズムが安定している 90%※1 朝食摂取率 95%※1 自ら積極的に行動している 80%※1	生徒課
		挨拶、言葉遣いと生徒による規範意識の育成	主体的に挨拶のできる生徒 90%※1 規範意識のある生活 95%※1 いじめ・体罰0件 生徒による学校生活の見直し	生徒課
		教育相談による予防対応	連続欠席者への早期対応・支援の強化 相談できる教職員の存在 70%※1	生徒課
		学校行事等による主体性、創造性、社会性の育成	行事等実施後の満足度 80%※1 友人や周囲への思いやり度 90%※1 諸行事への自主的参加 90%※1	生徒課 総務課
		学業と両立する効率的な部活動の実施	部活動との両立ができた生徒 80%※1 部活動ガイドラインの遵守 100%※3	生徒課
イ	自ら学ぶ力の育成	授業力の向上	授業理解度（わかりやすい授業）ふつうと回答した生徒を含めて 90%以上 教職員間での授業公開と授業見学の実施 他校の取組の研究	教務課
		総合的な探究の時間による自ら学ぶ力の育成	探究の時間の充実 80%※1	教務課 進路課
		基礎学力の定着と自ら学び直す力の育成	到達度テスト（リクルート）の活用 学習ポートフォリオ活用体制の構築 3年11月進研模試における平均G T Z B段階以上	教務課 進路課
		自走力に繋がる学習習慣の強化	家庭学習時間1日平均2時間以上 自主的な学習への取組 80%以上※1 放課後等自主学習の継続	教務課 進路課
ウ	こころざしの育成と全生徒の進路実現	こころざしの育成につながる機会の提供	自己実現を考える機会年間10回以上（進路講演会、きらめきフォーラム、オンライン学部説明会、系統別説明会、希望進路講座、公務員講座、学校薬剤師と語る会等） 進路課主催の講座等の満足度 80%以上 T G G満足度 90%以上※1	進路課 学年部
		生徒自ら切り拓く進路	大学進学目的が明確になった 70%※1	進路課
		生徒の進路実現に向けた計画的な指導	国公立大学への合格率 30%以上	進路課 学年部

様式第1号

エ	教職員の組織力の強化と業務改善	分掌内の情報共有と業務改善	分掌・学年会の定期的実施 分掌業務・組織の見直しと適切化 各内規の見直しの実施 ICTを活用した業務改善の推進	管理職 各分掌
		定期的な健康診断とストレスチェック、計画的な休暇促進	健診受診率 100%※3 ストレスチェック受診率 100%※3 夏季休暇の完全取得者 100%※3 完全退校時間の遵守 職員の超過勤務時間前年比 95%へ削減	管理職
		コンプライアンスに関する研修会	不祥事0件 不祥事ミニ研修年 10回以上 教育公務員としての自覚 100%※3 適切な会計処理の励行と不祥事根絶	管理職 事務室
オ	学校・家庭・地域との連携協力	地域活動との連携	ボランティアや小中学生との交流等地域活動に参加する生徒 50%以上※1	生徒課
		家庭との連携協力	保護者が学校に来る機会の増加 保護者への進路情報の提供 保護者が学校のことを知ようになった 70%以上※2	総務課 進路課
		家庭、地域との連携による交通事故、問題行動の防止	交通事故件数前年度より減 非行・問題行動0件	生徒課
		中学生、その関係者に対する広報活動	学校説明会の実施年 3回以上 オープンスクールの実施年 2回 中学生一日体験入学参加者の満足度 90%以上 中学生への直接的な広報の計画と実施 中学校訪問による情報収集と連携の充実	管理職 教務課
		学校運営協議会（コミュニティスクール）の開催及び地域連携事業	年 3回以上実施 地域連携事業の検討（伊豆の国市）	管理職
カ	魅力ある学校づくり	伊豆中央高校の将来（5年）を見据えた構想の立案	将来構想の具現化事業開発・実施	管理職
		ホームページ等による学校活動の情報発信	ホームページ更新に関する研修を実施 ホームページ更新回数前年度より増 新聞社への情報提供回数の前年度より増	管理職 総務課
		危機管理に関する訓練	防災訓練年 3回実施 緊急時対応の理解度 100% ※1※2※3 地域防災訓練参加率の向上	総務課

様式第1号

		教育環境の整備と事務の適切な執行	環境整備、危険個所の把握、安全管理等の点検年3回以上 施設の適切な補修及び修繕の執行	管理職 事務室 総務課
		学校評価アンケートの分析・活用	学校評価アンケート課題解決2項目以上	管理職
		ICT活用スキルの向上	AI、データサイエンス等を活用して課題解決するプロセスを理解するようになった。75%以上	情報管理委員会

成果目標の数値はアンケート調査で「あてはまる・ややあてはまる」と回答した割合(%) ※1は生徒※2は保護者※3は教職員
(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。